

思いを実現し、豊かな学級や学校の生活をつくる学級活動(1)

学級会では、児童の思いや願いを話し合いの中心に据えて行います。教師は、発達段階に応じた適切な指導・助言を行い、児童が提案理由を踏まえながら自分たちでよりよい合意形成ができるようにします。

●学級活動「(1)学級や学校における生活づくりへの参画」/議題「〇〇さん をむかえる会をしよう」(第3学年)を例に

事前の活動

①問題の発見

○学級生活がもっとよくなることや
みんなでしたいこと、つくりたい
ものはないかなど、生活の中から
議題を見つけます。

②議題の選定(計画委員会)

○学級の全員で話し合うべき問題か
どうかを考え、議題を選定します。

③議題の決定

○学級の全員に提示し、全員で議題
を決定します。

④活動計画の作成(計画委員会)

○提案理由や話し合うことを決め、
学級会の進め方の計画を立てます。

⑤問題の意識化

○学級活動コーナーなどを活用して、
議題に対する意識を高めます。

○学級活動ノートに、自分の考えをまとめ
ることで、自分の意見をもって話し合
いに臨んだり、理由を付けて発言した
りすることが出来ます。

○「きまっていること」を掲示することで、
場所や時間、行うゲームの数など、話し
合う上での「条件」を明確にして話し合
うことができます。そのまま動かして黒板
に貼るなどして、活用することもでき
ます。

学級活動コーナー

きまっていること

- ① 6月27日(金)5校時
- ② 教室で行う
- ③ ゲームは2つ(30分間)

大まかなプログラムを示しておくこと
で何を決めるかが分かりやすくなります。

むかえる会プログラム

- ① はじめの言葉
- ② 歌
- ③ ゲーム
- ④ かんそう
- ⑤ おわりの言葉

(1)ア 学級や学校における生活づくりへの参画

児童の思いや願い・前時の振り返り・年間指導計画

議題や話し合いの 進め方の理解

●議題の内容や話し合うこと
を理解し、提案理由や
めあてにもとづいて、一
人一人が自分の考えを再
確認したり、学級会の時
間配分や進め方を共通理
解したりします。

解決方法等 の話し合い

出し合う

●一人一人の思いや願いを
大切にしながら、「話し
合うこと」について自分
の考えを発表し合います。

くらべ合う

●よりよい解決方法等を見つ
けるために、質疑応答を通
して意見の共通点や相違点
を確かめたり、賛成意見や
反対意見などを述べたりし
ながら話し合います。

まとめる(決める)

●いろいろな意見の違い
を認め合い、折り合い
をつけるなどして、み
んなの考えをまとめ、
合意形成を図ります。

話し合うことの明確化

○今何について話し合っている
かを矢印やマークなどで示し、
集中して考えられるようにし
ます。

見通しをもつために

○めやすの時間を示すことで、
時間を意識して話し合うこと
ができるようになります。
○重点を置く内容に、より多く
の時間をかけられるようにし
ます。

教師の指導・助言

○提案理由やめあてに沿って話し合いを進められるように、指導助言を
行います。
○司会グループの児童だけではなく、全員に対して助言し、学級全体
の話し合いの力が高まるようにします。
○相手を傷つけるような発言があったときは、適切な指導を行います。

先生の話

○発達段階や児童の実態を踏まえながら、今
回の学級会でよかったことや次回への課題を
話し、よりよく合意形成を図って話し合うこ
とができるようになります。
○司会グループへの称賛、学級全体へ実践意欲
を高める声かけなども考えられます。

クイズとバスケットに分けて提示すると分かりやすいね。

思考の可視化・操作化・構造化

○賛成・反対マークを色を変えて貼ることで、話し合いの状況や経過が
分かりやすくなります。
○意見を書いたカードなどを操作しながら、意見を分類・整理するこ
とで、意見をくらべやすくなります。
○必要に応じて、思考ツールなどを適切に取り入れることで、考えを
深めたり、まとめることにつながります。

事後の活動

決めたことの実践

決めたことの確認

●「集会の内よう」や「みんなのことを知
って〇〇さんによるこんでらう工ふう」
を確かめ、実践への見通しをもつよ
うにします。

むかえる会の内容
「フルーツバスケット」
「3の3クイズ」

〇〇さんをむかえる会の準備

●全員で役割を分担し、協力して準備を
行います。

●話し合って決めたことを全員で協
力し合って実践します。



楽しい会にして
〇〇さんに喜んで
もらいたいな。

振り返り

●学級活動ノートに振り返りの欄をつ
くするなどして、児童が実践の振り返り
を行うことができるようになります。

提案理由やめあてを意
識して、集会を行うこ
とができましたか。



●実践の様子や振り返りを学級活動コー
ナーに掲示したり、学級のあゆみとし
て残したりすることで、次の学級会や
実践に生かすことができます。

次の課題解決へ